



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴崎 正典

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	31,106	5.6	104	602.9	173	111.1	187	
2019年3月期第2四半期	32,968	15.1	14		82		4	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 62百万円 ( 71.7%) 2019年3月期第2四半期 222百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	27.83	
2019年3月期第2四半期	0.71	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	32,476	17,877	54.2
2019年3月期	32,368	17,880	54.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,594百万円 2019年3月期 17,628百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		9.00	18.00
2020年3月期		9.00			
2020年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	0.0	350	12.3	480	2.9	270	16.9	40.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,600,000 株	2019年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	873,496 株	2019年3月期	873,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,726,504 株	2019年3月期2Q	6,726,561 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなどにより堅調に推移する一方で、米中貿易摩擦の長期化やイギリスのEU離脱問題の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。とりわけ製造業においては業況判断DIが低下する等、企業動向にはより慎重が見られます。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は期初から70ドル前半で推移した後、6月の米国による中国やメキシコへの追加関税の発表を受け下落し、以降60ドル前半で推移いたしました。9月中旬にはサウジアラビアの石油施設攻撃の影響により一時急騰いたしましたが、その後再び60ドル前半に戻りました。国内石油製品価格は原油価格の動向を受けて、5月中旬から9月中旬にかけて緩やかな下降基調で推移いたしました。

国内石油製品需要は、堅調な輸送需要を背景に軽油が増加するなどのプラス要因がありましたが、自動車の低燃費化等に伴うガソリンの減少や、火力発電所の重油使用量減少等により、全体としては前年を僅かに下回りました。

再生可能エネルギー業界におきましては、固定価格買取制度の買取価格の引下げ等の影響を受け、太陽光発電設備の導入ペースは停滞傾向にあります。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、石油関連事業の直需部門において発電所向けC重油の納入が減少したことや、卸部門において一部販売店SS（サービスステーション）が閉鎖したこと等により、売上高は31,106,955千円（前年同期比5.6%減）となりました。石油関連事業において石油製品の販売環境が改善したことに加え、再生可能エネルギー関連事業において昨年8月から連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所が売電を開始したこと等により、営業利益は104,311千円（前年同期比602.9%増）、経常利益は173,873千円（前年同期比111.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、187,201千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4,752千円）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

## &lt;石油関連事業&gt;

## (直営部門)

直営部門につきましては、前第3四半期に他社保有3SSの運営継承を行ったこと等により、燃料油の販売数量やカーメンテ商材の販売が増加いたしました。しかしながら、燃料油の販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比1.6%減の11,995,080千円となりました。

## (卸部門)

卸部門につきましては、一部販売店SSの閉鎖に伴い燃料油の販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比9.2%減の4,287,252千円となりました。

## (直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、発電所向けC重油の販売数量が大幅に減少したこと等により、売上高は前年同期比5.8%減の11,062,735千円となりました。

## (産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業資材の販売は昨年度から注力していた顧客への販売が進んでいることや海外への輸出も増加したこと等により、堅調に推移いたしました。しかしながら、石油化学製品の販売数量が減少したことや昨年と比べ販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比10.7%減の1,764,105千円となりました。

## (その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガスの販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比22.0%減の485,703千円となりました。

## &lt;再生可能エネルギー関連事業&gt;

再生可能エネルギー関連事業につきましては、昨年8月から連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所が売電を開始するなどプラス要因がありましたが、太陽光発電関連機器の販売が減少したこと等により、再生可能エネルギー関連事業全体の売上高は前年同期比35.3%減の481,134千円となりました。

## &lt;外食事業&gt;

外食事業につきましては、タリーズコーヒー店において前年度に1店舗を閉鎖いたしました。ケンタッキーフライドチキン店において各種キャンペーンに伴い客数が増加したこと等により、外食事業全体の売上高は前年同期比5.4%増の716,429千円となりました。

## &lt;不動産事業&gt;

不動産事業につきましては、新たに賃貸マンションであるエディアン目黒本町の稼働が始まったこと等により、売上高は前年同期比9.8%増の314,512千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、107,741千円増加し、32,476,491千円となりました。これは、現金及び預金が540,293千円、関係会社株式が331,770千円、繰延税金資産が145,163千円増加したことなどによるものです。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、111,671千円増加し、14,599,485千円となりました。これは、借入金51,968千円、繰延税金負債が69,477千円増加したことなどによるものです。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、3,929千円減少し、17,877,006千円となりました。これは、利益剰余金が121,177千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が163,494千円減少したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、5.03円減少し、2,615.69円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が増加したために、前連結会計年度末に比べ300,557千円増加し、3,633,336千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、580,333千円の資金の増加となりました。これは、法人税等の支払額107,792千円、仕入債務の減少額72,002千円などにより資金が減少したものの、売上債権の減少額314,200千円、保険金の受取額25,497千円などにより資金が増加したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、267,899千円の資金の減少となりました。これは、有形固定資産の売却による収入448,361千円、投資有価証券の売却による収入87,665千円などにより資金が増加したものの、関係会社株式の取得による支出365,178千円、定期預金の預入による支出240,000千円、有形固定資産の取得による支出189,867千円などにより資金が減少したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、8,570千円の資金の減少となりました。これは、長期借入金の収入及び返済などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更いたしません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,355,436	3,895,729
受取手形及び売掛金	7,629,726	7,273,824
商品及び製品	893,044	883,395
その他	520,881	738,852
貸倒引当金	△17,113	△16,352
流動資産合計	12,381,975	12,775,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,643,443	3,590,958
土地	5,688,627	5,688,627
その他(純額)	3,865,471	3,436,781
有形固定資産合計	13,197,542	12,716,367
無形固定資産	306,292	294,229
投資その他の資産		
投資有価証券	4,184,795	3,953,514
関係会社株式	1,128,710	1,460,481
その他	1,259,704	1,358,543
貸倒引当金	△90,271	△82,094
投資その他の資産合計	6,482,939	6,690,445
固定資産合計	19,986,774	19,701,041
資産合計	32,368,749	32,476,491
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,943,564	1,871,562
短期借入金	2,684,346	3,253,235
未払法人税等	134,937	86,856
賞与引当金	238,017	237,320
役員賞与引当金	12,000	5,500
資産除去債務	4,951	2,196
その他	1,023,887	1,149,487
流動負債合計	6,041,704	6,606,159
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	5,600,147	5,083,226
繰延税金負債	300,353	369,830
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	935,575	934,860
資産除去債務	215,731	222,291
その他	588,001	576,817
固定負債合計	8,446,109	7,993,326
負債合計	14,487,813	14,599,485

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,747,555	9,868,732
自己株式	△643,445	△643,445
株主資本合計	16,009,734	16,130,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,691,844	1,528,349
為替換算調整勘定	△11,264	△13,672
退職給付に係る調整累計額	△62,004	△51,151
その他の包括利益累計額合計	1,618,575	1,463,525
非支配株主持分	252,625	282,568
純資産合計	17,880,935	17,877,006
負債純資産合計	32,368,749	32,476,491

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	32,968,093	31,106,955
売上原価	29,618,923	27,488,271
売上総利益	3,349,169	3,618,683
販売費及び一般管理費	3,334,329	3,514,371
営業利益	14,840	104,311
営業外収益		
受取利息	2,102	1,723
受取配当金	75,173	78,723
持分法による投資利益	6,326	-
その他	84,504	84,861
営業外収益合計	168,106	165,307
営業外費用		
支払利息	62,007	74,493
持分法による投資損失	-	303
その他	38,569	20,947
営業外費用合計	100,576	95,745
経常利益	82,370	173,873
特別利益		
固定資産売却益	-	74,534
投資有価証券売却益	-	45,619
受取保険金	-	25,497
特別利益合計	-	145,651
特別損失		
減損損失	51,048	43,215
工事請負契約解約損	-	9,400
特別損失合計	51,048	52,615
税金等調整前四半期純利益	31,322	266,909
法人税、住民税及び事業税	54,897	56,893
法人税等調整額	△14,178	△8,026
法人税等合計	40,718	48,867
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,396	218,041
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,643	30,840
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,752	187,201



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,396	218,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226,869	△164,157
為替換算調整勘定	378	△2,407
退職給付に係る調整額	3,958	10,852
持分法適用会社に対する持分相当額	1,108	663
その他の包括利益合計	232,314	△155,049
四半期包括利益	222,917	62,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,561	32,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,643	30,840

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	31,322	266,909
減価償却費	203,458	264,038
減損損失	51,048	43,215
固定資産売却益	—	△74,534
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△45,619
その他の特別損益(△は益)	—	△25,497
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,247	△697
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36,700	14,926
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△11,167	6,333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,724	△8,938
受取利息及び受取配当金	△77,275	△80,446
支払利息	62,007	74,493
持分法による投資損益(△は益)	△6,326	303
預り保証金の増減額(△は減少)	2,531	△12,929
売上債権の増減額(△は増加)	16,116	314,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	32,224	9,649
仕入債務の増減額(△は減少)	88,662	△72,002
未払軽油引取税の増減額(△は減少)	△53	△40,400
その他	△230,983	34,394
小計	208,236	667,401
利息及び配当金の受取額	78,630	82,928
利息の支払額	△61,223	△78,301
法人税等の支払額	△162,622	△107,792
保険金の受取額	—	25,497
契約違約金の支払額	—	△9,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,022	580,333
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△240,000
有形固定資産の取得による支出	△859,443	△189,867
有形固定資産の売却による収入	334	448,361
無形固定資産の取得による支出	△55,847	△7,096
資産除去債務の履行による支出	△1,764	△5,000
投資有価証券の取得による支出	△2,300	△22,464
投資有価証券の売却による収入	—	87,665
関係会社株式の取得による支出	△67,568	△365,178
貸付けによる支出	△11,880	△2,380
貸付金の回収による収入	7,152	5,219
その他	△12,829	22,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,004,147	△267,899
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	150,000	500,000
長期借入れによる収入	1,944,490	400,010
長期借入金の返済による支出	△341,674	△848,042
社債の発行による収入	800,000	—
配当金の支払額	△60,539	△60,538
その他	△16,057	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,476,220	△8,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	240	△3,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,535,335	300,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,984,814	3,332,779
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,531	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,523,682	3,633,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	31,257,901	743,640	680,029	286,521	32,968,093	-	32,968,093
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	25,066	25,066	△25,066	-
計	31,257,901	743,640	680,029	311,588	32,993,159	△25,066	32,968,093
セグメント利益 又は損失(△)	23,774	36,381	△41,380	200,329	219,104	△204,264	14,840

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△204,264千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで26,698千円、「外食事業」セグメントで24,349千円を当該減損損失に計上しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	29,594,878	481,134	716,429	314,512	31,106,955	—	31,106,955
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	24,999	24,999	△24,999	—
計	29,594,878	481,134	716,429	339,512	31,131,954	△24,999	31,106,955
セグメント利益 又は損失(△)	54,461	86,581	△21,025	172,325	292,343	△188,031	104,311

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△188,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで8,803千円、「外食事業」セグメントで34,411千円を当該減損損失に計上しております。